

No 94

Japan Handball Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会

男子  
 女子

試合番号 アリーナB-女6

# ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 26 日 (水)  
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

## 公式記録用紙

A					霧島市立国分中央高等学校										岩手県立不来方高等学校					B	
北海道		函館市			函館アリーナBコート					1回戦											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シヤツ	A	B							
	14	13		28	22																
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数									
		5/5		1	2	3	1	2	3	5/5											
				2219			2911			2305											
No.	国分中央				G	W	2'	D	DR	No.	不来方				G	W	2'	D	DR		
2 c	福留 愛音				10		1			1	廣田 来未										
3	坂本 悠莉				5		1			2	安ヶ平 優衣				9		1				
4	野村 月乃				5					3	細川 杏莉				2						
5	馬場 莉琉				1		1			4 c	阿部 はる菜				2						
6	内野 未結									5	阿部 夢咲花				1		2				
7	永井 杏梨				2		1			6	窪小谷 心結				3						
8	池田 二葉				4		1			7	久慈 椿				4						
9	小瀨 緑咲									8	村松 未来				1		1				
13	山名 莉理									9	小野寺 一花										
14	岡山 ことみ				1					10	熊谷 真南										
15	日置 千智									11	川村 実咲貴										
16	浅谷 栞月									12	藤原 ひり										
17	城ノ上 清加									13	馬内 凜心										
21	樋口 莉子									14	鈴木 雪菜										
監督A	庄屋 亮二									監督A	大沢 勝										
役員B	南 里穂									役員B	安倍 千夏										
役員C	石井 彩子									役員C	福士 宏紀										

A	庄屋 亮二	チーム役員A署名	大沢 勝	B
特記事項				

レフェリー	合田 享弘	橋本 賢	合田 享弘 橋本 賢
T D	水谷 省一	浅井 宏信	浅井 宏信 水谷 省一
MO			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



# ハンドボール

No. 95

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会  
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月26日(水)		会場	函館アリーナBコート	
種別	女子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
霧島市立国分中央高等学校			岩手県立不来方高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	14	前半	13	22	
	14	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評
<p>霧島市立国分中央高等学校と岩手県立不来方高等学校の試合は国分中央のスローオフで開始した。先制点は国分中央No.5の馬場で、不来方も前半3分にNo.2安ヶ平の7mスローで得点し、追いついた。そこからは両チーム共に堅い守りとセットプレー中心の攻撃で、互いに1点を取り合う接戦が続く。</p> <p>前半20分頃、不来方のNo.2安ヶ平のロングシュートが連続して決まり、2点差となったところで、国分中央がタイムアウトをとり、その後は国分中央が2点連続して点を取り、同点に追いついた。</p> <p>前半25分、27分と国分中央に連続して退場があり、1名選手が少ない状況ではあったが、息の合った選手交代もあり、点差がつくことはなかった。</p> <p>前半終了間際、国分中央No.2福留が点を決め、14対13と国分中央が1点リードした形で前半が終了。</p> <p>後半開始後すぐには不来方のNo.7久慈が得点し、同点に追いつく。その後は前半同様に1点を取り合う試合展開となった。</p> <p>後半8分から両チームに退場者が出る状況の中、7mスローや相手の隙をつく攻撃で、国分中央が3点をリード。</p> <p>国分中央キーパーNo.16浅谷の好セーブが続き、後半20分頃から徐々に点差がつくようになった。高い集中力と最後の1秒まで得点を重ねようとする力強いプレーで、互いに点を取り合う1歩も譲らない試合は、28対22で国分中央が勝利した。</p>

記入者	山崎 美香
-----	-------